

優秀賞

交通安全を通して安心な社会に

尾倉中学校 1年 野中 彩和子

安全とは、命や体などが害を受ける心配がない状態のことを指します。交通安全における心配のない状態にするためには、何が重要か考えてみました。

私はまず、交通ルールを守ることが大切だと思います。そのためには、ルールをよく知って覚えなないとはいけません。ルールを理解するには、正しい事を教えてくれる人や場所が必要になってきます。理解している事が人それぞれちがうと、ルールが分からず事故が起こる危険があります。両親が自動車免許の更新の時には、新しい交通ルールを学ぶ時間があるそうです。私も、学校で開かれる交通教室の時に真剣に話を聞こうと思います。

また、私の家の前の道は、大通りへのぬけ道でもとても細いです。少しカーブしていて見えにくく危ない場所です。昔、近所で小さな子どもが自動車にひかれたところを母が見たことがあるそうです。

だからこそ、私は、しっかり周りを見ることを意識しています。私は、一つの事に集中すると、周りが見えなくなったり聞こえなくなったりすることがあります。それは自身の世界に入っていて、人への意識がなくなっている状態です。道を歩く時に、そのような状態にならないように注意することが大切だと思います。

また、見えていなくても、自動車や人が来るかもしれないという予測をする姿勢が必要だと思います。細い小さな道だから、周りをよく見て自動車の動きを予測しながら登下校したいです。そして、自動車を運転する人も同じような意識をしてほしいです。

これからも交通ルールを理解し守り、ゆずり合いや思いやりをもって交通安全に努めたいと思います。交通安全を通して、安心して暮らせる社会になってほしいです。